

市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO.180

2017年7月31日
日本共産党
新潟市議会議員団
電話 025-226-3450
FAX 025-223-7748

第59回自治体学校in千葉に参加 — 日本共産党新潟市議団 —



7月22日・23日の2日間、千葉県の青葉の森公園芸術文化ホールと植草学園大学を会場に開催された第59回自治体学校に、渡辺有子・五十嵐完二・飯塚孝子・平あや子の議員4名が参加しました。

1日目の7月22日(土)は、岡田知弘京都大学大学院教授をコーディネーターに、渡辺治・一橋大学名誉教授、中山徹・奈良女子大学教授の3名による「住民参加で輝く自治体を」テーマにした記念シンポジウムで

した。

自治体学校開催にむけた準備をした後に、安倍首相による期限を切った改憲発言、森友・加計学園問題等の行政私物化に対する国民的批判、東京都議選での自民党の歴史的敗北など、大きな政治的变化があったことから、当初企画のメインテーマであった大都市部・地方における多様な地方自治と住民参加に加え、都議選後の安倍改憲の動向と地域での対抗軸形成の展望が議論されました。



岡田・渡辺・中山3氏によるシンポジウム

岡田知弘教授は、「地方自治をめぐる新たな動向と、地方自治と住民自治をめぐる現状・課

題と展望」として、沖縄知事選

挙で「オール沖縄」での翁長知事誕生、2015年安保法案反対・立憲主義回復運動の全国的広がり、市民と野党の共同運動の成立を述べ、3・11被災地、沖縄、新潟から新しい民主主義・地方自治の流れが生まれたとしました。

その事例として、新潟県では市民連合と野党の共同により、参議院選挙で森ゆうこ統一候補が勝利し、県知事選では原発再稼働、TPP、住民の暮らしと地域経済の再生など、広範な分野の政策を共同でつくり、県内の地域単位に共同組織をつくって前長岡市長(全国市長会前会長)に圧勝し、米山知事を誕生させたことを紹介しました。



書籍「県民は、なぜ米山知事を選んだのか」を宣伝する平あや子議員と福島富・にいがた自治研副理事長



講師の中山、岡田、渡辺の3教授と新潟市議団、福島・にいがた自治研副理事長

2日目に行われた分科会では、渡辺議員は「地域内循環型経済と地域づくり」に、五十嵐議員は「地方創生政策の現段階と自治体の課題」に、飯塚議員は「公共サービスの産業化と公務労働」に、平議員は「大規模開発を考える」にそれぞれ参加しました。

市議団の日程

7月31日(月)～2日(水)

文教経済常任委員会行政視察
環境建設常任委員会行政視察

8月1日(火)～3日(木)

市民厚生常任委員会行政視察

8月3日(木) 阿賀北議会、保育セミナー

8月4日(金) 広報委員会

8月7日(月)～9日(水)

総務常任委員会行政視察